

取扱説明書 基本ガイド

HDD レコーダー付ポータブル
地上・BS・110 度 CS
デジタルテレビ

品番 UN-15T8
UN-10T8
UN-15CT8
UN-10CT8

安全上のご注意

ご使用前に必ずお読みください。
(3 ～ 7 ページ)

準備

接続と設定は、16 ～ 25 ページを
お読みください。



ネットワークの接続 / 設定 ▶



基本操作 ▶

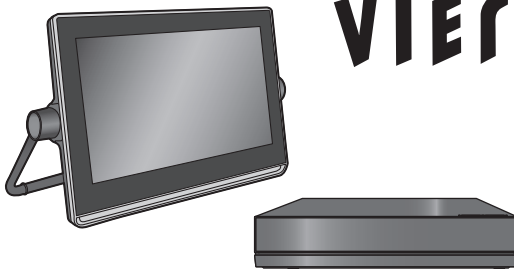


必要なとき ▶



プライベート・ビエラ

VIERA



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

本機の詳しい操作説明について

本書は接続と設定およびモニターの基本的な操作説明をしています。
モニターの詳しい操作説明およびチューナー部をテレビに接続して操作する
方法は、内蔵の「取扱説明書」(→ 2)をご覧ください。

別売リモコンのご案内

モニターやチューナー部の操作を、別売のリモコンでさらに便利にお使い
いただけます。詳しくは 8 ページをご覧ください。

保証書別添付

はじめに	8
各部の働き	10
設置に関するお知らせ	12
防水について / お手入れ	14

準備

準備する	16
------------	----

ネットワークの接続 / 設定

ネットワークの接続をする	26
ネットワークの設定をする	29

基本操作

モニター画面の操作について	30
テレビを見る / 放送中の番組を録画する	32
予約録画する	33
録画した番組を再生する / 消去する	34
番組を検索する	35
お部屋ジャンプリnkを利用して 他の機器の録画番組を再生する	36
ウェブブラウザを使う / チューナー部の操作	37
設定する	38

必要なとき

こんな表示が出たら	39
故障かな !?	41
仕様	43
廃棄について	44
著作権など	45
保証とアフターサービス (よくお読みください)	47

万一、リコール対象（当社が無償で点検・修理、または交換などを行うこと）になったとき、不安全を回避するために、当社がモニター画面でお知らせしたうえで、充電含む一部機能を停止させることがあります。

本機の詳しい操作説明などの情報は



内蔵の取扱説明書

本機の取扱説明書は、基本ガイド（本書）と、内蔵の取扱説明書で構成しています。
以下を参考に、必要に応じて取扱説明書基本ガイドまたは内蔵の取扱説明書をご覧ください。

安全上のご注意 / 設置 / 接続 などは ▶ 取扱説明書基本ガイド（本書）

詳細な操作方法 / 初期設定 / 困ったとき / さくいん などは ▶ 内蔵の取扱説明書

モニターから内蔵の取扱説明書をご覧ください。
以下の操作で表示できます。




- 1  をタッチする
・表示がない場合は、画面に触れると表示します。
- 2  をタッチする
- 3 「取扱説明書」をタッチする






安全上のご注意 (必ずお守りください)

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

	危険	「死亡や重傷を負うおそれが大きい内容」です。
	警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
	注意	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。


■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。(次は図記号の例です)

	してはいけない内容です。
	実行しなければならない内容です。
	気をつけていただく内容です。

危険

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した充電式電池に適用されます。

モニター専用の充電式電池です この機器以外に使用しない

-  取り出した充電式電池は充電しないでください。
- 火への投入、加熱をしない
 - くぎで刺したり、衝撃を与えたり、分解・改造をしない
 - ⊕ と ⊖ を金属などで接触させない
 - ネックレス、ヘアピンなどと一緒に持ち運んだり保管しない
 - 電子レンジやオープンなどで加熱しない
 - 火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・放置しない
 - 外装シールを破ったり、はがさない
- 発熱・発火・破裂の原因になります。



警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する



異常があったときには、電源プラグを抜く

電源プラグを抜く

- 煙が出たり、異常なおいや音がする
- 映像や音が出ないことがある

- 内部に水や異物が入った
 - 電源プラグが異常に熱い
 - モニター、チューナー部、AC アダプターに変形や破損した部分がある
- そのまま使うと火災・感電の原因になります。
- 電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、販売店にご相談ください。
 - 電源プラグはすぐに抜けるように容易に手が届く位置のコンセントをご使用ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

AC アダプターは水につけたり、水洗いしない



感電やショートによる火災などの原因になります。

水ぬれ禁止

AC アダプターは水場（浴室や台所など）で絶対に使用しない



感電やショートによる火災などの原因になります。

水場使用禁止

雷が鳴ったら、チューナー部やモニター、電源プラグ、アンテナ線に触れない



感電の原因になります。

接触禁止

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。

- 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。

AC アダプターおよび電源コードのコード部や電源プラグを破損するようなことはしない



(傷つける、加工する、熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重い物を載せる、束ねるなど)

傷んだまま使用すると、感電や、ショートによる火災の原因になります。

- コードやプラグの修理は、販売店にご相談ください。

チューナー部の分解、改造をしない



内部には電圧の高い部分があり、感電の原因になります。

分解禁止

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。

ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない



感電の原因になります。

ぬれ手禁止

miniB-CAS カードは、乳幼児の手の届くところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。



警告

内部に金属物を入れたり、水などの液体を かけたりぬらしたりしない



ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●モニターは防水仕様のため、水のかかるところでもお使いいただけますが、端子ふたを確実に閉めてください。

- チューナー部の上に水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。
- 特にお子様にはご注意ください。

モニターは充電式電池を内蔵しています



- 火中投入、加熱、高温での充電・使用・放置をしない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない

- 分解・改造しない（製品廃棄時を除く）
- 発熱・発火・破裂の原因になります。

モニターは可燃性・爆発性・引火性のガス などのある場所で使わない



火災や爆発の原因になります。

- 粉じんの発生する場所でも使わないでください。

ヘッドホン使用時は、音量を上げすぎない



耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

モニターは電源を入れたまま長時間、直接 触れて使用しない



モニターの温度の高い部分に長時間、直接触れていると低温やけど*の原因になります。

- ※ 血流状態が悪い人（血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている）や皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。

心臓ペースメーカーを装着している方は チューナー部やモニターを装着部から 15 cm 以上離す



チューナー部やモニターからの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。

自動ドア、火災報知器などの自動制御機器 の近くで使用しない



チューナー部やモニターからの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

病院内や医療用電気機器のある場所では 使用しない



チューナー部やモニターからの電波が医療用電気機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因になります。

次の安全上のご注意は、製品廃棄時（充電 式電池取り出し時）に適用されます。

取り外したねじなどは、乳幼児の手の届く ところに置かない



誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

- 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

次の安全上のご注意は、廃棄時取り出した 充電式電池に適用されます。

充電式電池の液がもれたときは、素手でさ わらない



- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。

- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

注意

異常に温度が高くなるところに置かない



温度が高くなりすぎると、火災の原因になることがあります。

- 直射日光の当たるところ、ストーブの近く、コンロの周りでは特にご注意ください。
- 特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60℃以上）になります。モニターや AC アダプターなどを絶対に放置しないでください。
- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなります。

放熱を妨げない



内部に熱がこもると、火災の原因になることがあります。

- チューナー部背面の内部冷却用ファンや底面の吸気孔をふさがないでください。
- また、外装ケースが変形する原因にもなります。

コードを接続した状態で移動しない



接続した状態で移動させようとすると、コードが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。また、引っかけて、けがの原因になることがあります。

不安定な場所に置かない



●高い場所、水平以外の場所、振動や衝撃の起こる場所に置かない
倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなります。

重い物を上に載せたり、乗ったりしない



倒れたり落下すると、けがの原因になることがあります。

また、重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

屋外アンテナの設置、工事は自分でしない



強風でアンテナが倒れた場合に、けがや感電の原因になることがあります。

- 設置・工事は販売店にご相談ください。

チューナー部は油煙や湯気の当たるところ、湿気やほこりの多いところに置かない



電気が油や水分、ほこりを伝わり、火災・感電の原因になることがあります。

モニターは台所などで高温の蒸気の当たるところ、油煙やほこりの多いところに放置しない



高温の蒸気で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になることがあります。

また、端子などに油煙やほこりがたまり、故障の原因になります。

歩行中はモニターで映像などを見ない



物にぶつかったり、つまずいたりして、けがの原因になることがあります。

モニターに磁気の影響を受けやすいものを近づけない



モニターの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

また、磁気の影響を受けるのでテレビやパソコン等の近くに置かないでください。

モニターのスタンド以外を片手でつかんで持ち上げたり、運んだりしない



落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなります。

⚠ 注意

長期間使わないときや、外装ケースのお手入れのときは、電源プラグを抜く



電源プラグ
を抜く

通電状態で放置、保管すると、絶縁劣化、ろう電などにより、火災の原因になることがあります。

指定の AC アダプターを使う



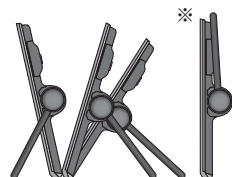
指定以外の AC アダプターで使用する
と、火災や感電の原因になることがあ
ります。

AC アダプターの DC プラグをなめない



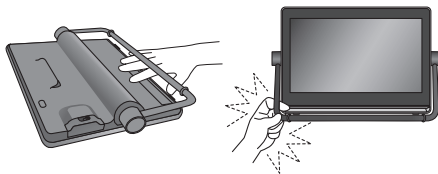
感電のおそれがあります。
●特にお子様にはご注意ください。

モニターは指定のポジションで設置する



指定のポジション以外で設置すると、倒れたり
落下し、けがの原因になることがあります。ま
た、製品の故障の原因にもなります。
※ モニター引っ掛け時に使用します。

モニターを設置するときや移動させるとき は、モニターとスタンドの間に指をはさま ないように注意する



指はさみ注意

けがの原因になることがあり
ます。
●特にお子様にはご注意ください。

前面パネルが割れた場合は、破片の飛散に 注意する



誤って割れた破損部に触れるとけがの
原因となります。

長期間、モニターを引っ掛けたままにしない



落下し、けがの原因になることがあり
ます。視聴終了後は取り外して保管し
てください。

モニターを引っ掛けた状態でぶら下がら ない





壁やスタンドが破損し、けがの原因に
なることがあります。

機器のイラスト（姿図）は、イメージイラストであり、
ご購入のものとは形状が多少異なる場合がありますが
ご了承ください。

はじめに

本製品は、モニターとチューナー部（HDD レコーダー）で構成されています。

	モニター UN-15T8D (UN-15T8 のモニター) UN-10T8D (UN-10T8 のモニター) UN-15CT8D (UN-15CT8 のモニター) UN-10CT8D (UN-10CT8 のモニター)
	HDD レコーダー UN-T8S (本書ではチューナー部と記載しています)

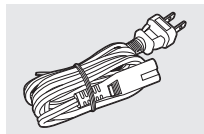
付属品

モニター用



AC アダプター (1 個)
 SAE0015AA
 防水仕様ではありません。

チューナー部用



電源コード (1 本)
 K2CA2YY00269



miniB-CAS カード (1 枚)
 ●台紙に貼り付けてあります。
 ●本カードの紛失時は
 (→16)

- 小物部品については乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。
- 電源コードキャップ*および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
 ※付属の電源コードによって、電源コードキャップがないものがあります。
- イラストと実物の形状は異なっている場合があります。
- 付属品の品番は、2018 年 2 月現在のもので、変更されることがあります。
- 電源コードは、本機専用ですので、他の機器には使用しないでください。また、他の機器の電源コードを本機に使用しないでください。

付属品や別売品は販売店でお買い求めいただけます。
 パナソニックの家電製品直販サイト「パナソニックストア」でお買い求めいただけるものもあります。
 詳しくは「パナソニックストア」のサイトをご覧ください。

<http://jp.store.panasonic.com/>

パナソニックグループのショッピングサイト

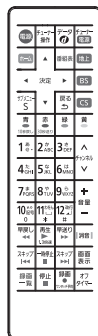


別売リモコンのご案内

モニターやチューナー部の操作を、以下の別売リモコンでさらに便利にお使いいただけます。

**リモートコントローラー
 (防水リモコン)
 DY-RM35**

お近くの販売店または「パナソニックストア」のサイトでご購入ください。



音のエチケット

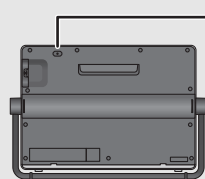
楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホン



音のエチケット
 をご使用になるのも一つの方法です。シンボルマーク

操作ができなくなったときは…

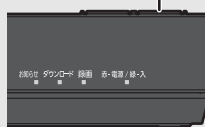
モニター



[電源ON/OFF]を
3秒以上押す
電源が切れます。

- それでも切れないときは
リセットボタン (→10)
を押してください。

チューナー部



[電源ON/OFF]を
3秒以上押す

故障かな!? と思った場合 →41

設置について

- アンプなどの熱源となる
物の上に置かない。
- 温度変化が起きやすい場
所に設置しない。
- チューナー部は、「つゆつ
き」が起りにくい場所に設置する。
- チューナー部は縦に置かない。
- モニターの液晶画面を下にして置かない。
(液晶画面の表面に傷が付く原因になります)



つゆつきについて

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- 「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき(暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど)
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- 「つゆつき」が起ったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで(約2～3時間)、電源を切ったまま放置してください。

温度上昇について

チューナー部とモニターを使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。チューナー部の移動やお手入れなどをすると、電源を切って電源コードを抜いて3分以上待ってください。

- 温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本書内の表現について

- 本書内で参照していただくページを (→○○) で示しています。
- 機種によってモニターの説明が異なる場合は、**UN-15T8D** **UN-15CT8D** **UN-10T8D** **UN-10CT8D** の表記で示しています。

当社ホームページのご案内

お持ちのパソコンのブラウザのアドレスバーに
<http://panasonic.jp/support/>
と入力してください。

モニターやチューナー部を使用していただくための、サポート情報を掲載しています。

- 連携できる機器品番情報などを確認できる
「動作確認情報」
- 困ったときや、用語を調べたいときの
「よくあるご質問」など

ホームページの内容は変更される場合があります。
あらかじめご了承ください。

どこでもディーガ

スマホやタブレットに視聴アプリ「どこでもディーガ (無料)」のダウンロードが必要です。どこでもディーガに関する詳細は下記ホームページをご覧ください。

http://panasonic.jp/support/av/d_diga/



各部の働き

モニター

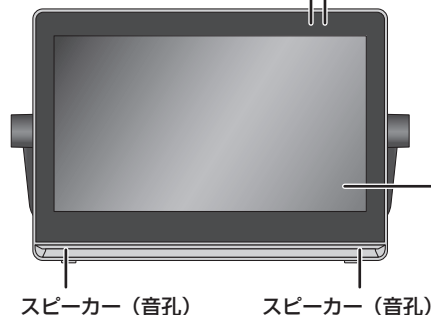
リモコン受信部

(別売りリモコンをご使用の場合)
受信範囲…正面: 約 4 m 以内
左右: 各約 30°
上下: 各約 20°

ランプ

以下の場合に点灯・点滅します。

- (緑で) 点滅 : 電源「入」時
 - その後、消灯します。
- (赤で) 点灯 : 充電中
- (赤で) ゆっくり点滅 : 電池残量不足時
- (赤で) 速く点滅 : エラー発生時
 - 「こんな表示が出たら」(→40)

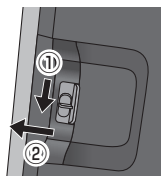


タッチパネル

静電容量方式のタッチパネルです。

端子ふたの開け方

ロックつまみを下へ
動かし、端子ふたを
引き出す

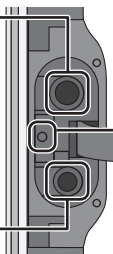


ふたを開けたとき

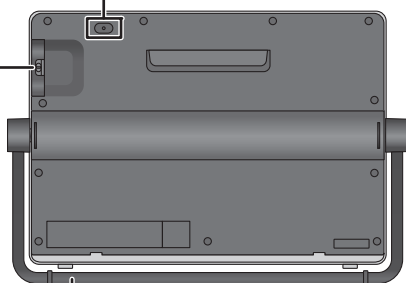
ヘッドホン／イヤホン端子

- φ3.5 mm ステレオミニジャック
- ・ 3極プラグのヘッドホン、
またはイヤホンをご使用ください。
- ・ 変換プラグ (φ6.3 mm 標準
プラグ→φ3.5 mm ミニプラグ)
には対応していません。

DC IN 端子



電源切/I 電源を切 / 入する



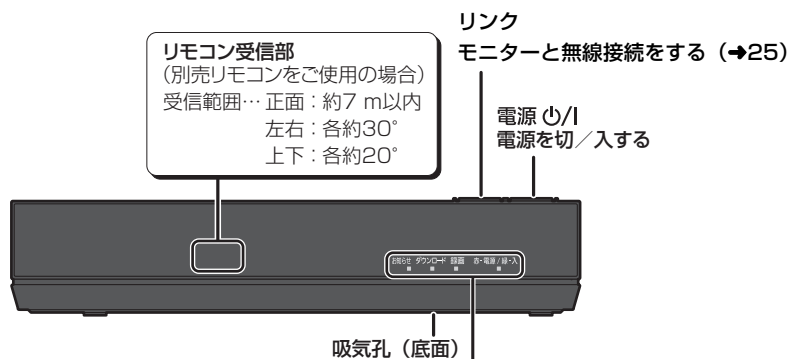
スタンド

持ち運び時はハンドルとして使用します。

リセットボタン

電源の切 / 入ができないなどモニターが
正常に動作しないときなどに、
伸ばしたクリップなどを
差し込んで、押してください。

チューナー部前面



ランプ

以下の場合に点灯・点滅します。

お知らせ : エラー発生時

●「こんな表示が出たら」(→39)

ダウンロード : ソフトウェアの更新中など

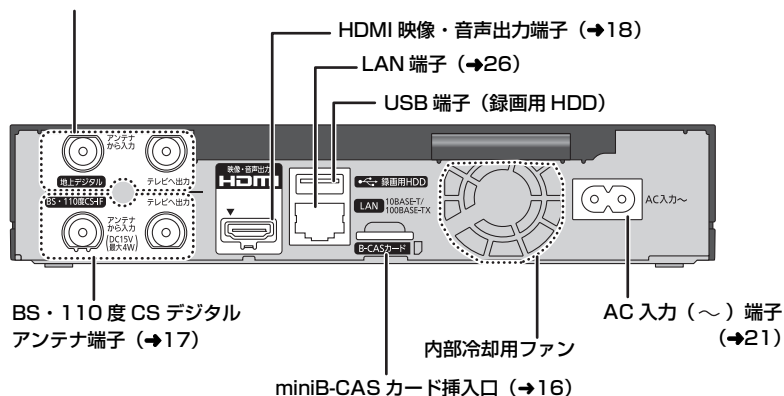
録画 : 録画中

●予約録画が始まる前の約3分間や録画ができない状態のときは点滅します。

電源ランプ : 電源「切」状態で赤、電源「入」状態で緑に点灯

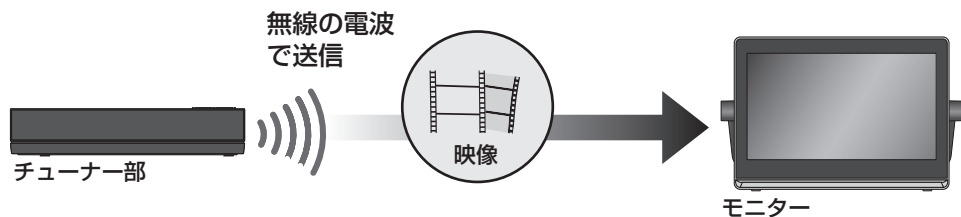
チューナー部背面

地上デジタルアンテナ端子 (→17)



設置に関するお知らせ

本製品は、チューナー部からの映像をモニターに送信するために、無線の電波を使用しています。



電波は、直線で届く場合と壁などの障害物で反射されて届く場合があります。チューナー部からモニターの間に何も障害物がないときは、直線見通しで約 35 m まで電波が届きます。

ただし、住宅などで使用する場合、壁や天井などの障害物で反射の影響を受けるため、電波の届く範囲は変動し、届きにくくなります。

パソコンでのホームページ閲覧などと比較すると、映像の送信は情報量が多くなるため、電波が届きにくくなると、映像が途切れたり、停止しやすくなります。

どんな場合に電波が届きにくい？

チューナー部とモニターの直線上に、以下のような障害物があると電波は届きにくくなります。

- 金属（鉄筋コンクリート、金属製家具など）
- 水
- 人

住宅でご使用になる場合は、以下のようなときに電波が届きにくくなります。

- チューナー部とモニターの間にコンクリートや土などの壁がある
- お風呂や台所などの水回りの部屋で使用
- 床暖房を敷いている 2 階の部屋で使用
- チューナー部とモニターの間に瓦などの屋根がある
- チューナー部またはルーターをテレビ台やラックの中に設置している

電波の受信状態を確認するには

「ネットワーク / 無線状態」の画面（→38）で「電波状態（受信レベル）」のインジケーターが4つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。

- テレビ視聴中や録画した番組の再生中は「無線電波状態」からも受信レベルの確認ができます。

電波が届きやすくするには

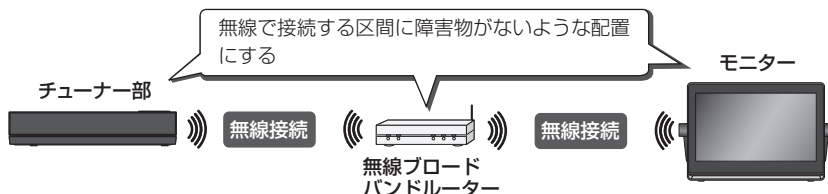
① チューナー部やモニターの設置場所を変更してみる

- 電波が届きにくくなる障害物がないように設置してください。
- チューナー部とモニターの距離が近くなるように設置してください。

② 無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）（市販品）を使って接続してみる（→27）

以下のように、無線ブロードバンドルーターを使って、無線で接続する箇所に障害物がないように設置すると電波が届きやすくなります。

設置例



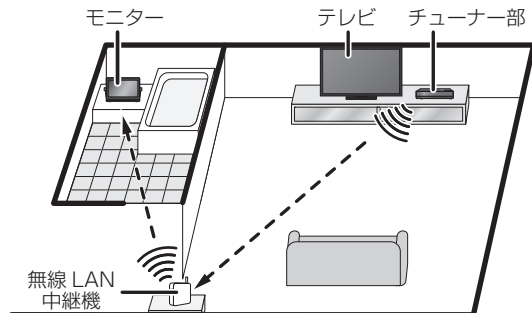
- 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーターをお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。
- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーターについては、当社ホームページ（→9）でご確認ください。

③ 無線 LAN 中継機（別売品）を使う

無線 LAN 中継機を使うと、電波の届く範囲が拡張され、電波が届きやすくなります。

- 無線 LAN 中継機については、当社ホームページ（→9）でご確認ください。

設置例



無線 LAN 中継機の設置について

- 電波の届きにくい場所（→12）を避けて、機器同士の距離が近くなるように設置してください。
- モニターを移動させて受信レベルを確認し（→12「電波の受信状態を確認するには」）、電波の状態が良好な位置に無線 LAN 中継機を設置してください。
- 無線 LAN 中継機の設定や詳細に関しては、無線 LAN 中継機の取扱説明書をご覧ください。

モニターの「無線と映像品質の設定」について

チューナー部からモニターに映像を送信するときに、映像が高画質なほど（録画モードが DR で録画した番組など）、電波の通信状態によって映像が途切れたり、停止する可能性があります。

モニターには、チューナー部から映像を送信する際に、画質を落として映像を送信しやすくする「無線と映像品質の設定」（→38）の設定があります。

電波が届きにくい場合は、「自動」または「無線優先」に設定することで、映像の途切れなどを抑えることができます。

- お買い上げ時の設定は「自動」です。
- テレビ視聴やチューナー部に記録された番組の再生時のみ有効です。

防水について / お手入れ

防水について

モニターは、JIS C 0920 (IEC 60529)「電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」の IPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。ご使用前に、以下の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 付属の AC アダプターおよびチューナー部は、防水仕様ではありません。



IPX6/IPX7 について

- IPX6 (噴流に対する保護等級) について
常温の水道水にて、機器から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/分の水を 3 分以上注水したあと、機器の機能が動作することに対応しています。
- IPX7 (浸水に対する保護等級) について
常温の水道水にて、水深 1 m に機器を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、機器の機能が動作することに対応しています。

モニターの防水対象液体

対応	真水、水道水、温水
非対応*	石けん水、シャンプー、温泉水、プールの水、海水

※対応以外の液体につけないでください。

入浴剤の使用について

ご使用いただける入浴剤については、下記のホームページでご確認ください。

(硫黄、塩分を含む入浴剤は使用できません)

<http://panasonic.jp/support/av/bath/>

- 入浴剤の原液や粉末が付着した場合や正常に動作しない場合は、水で洗い流したあと、乾いた柔らかい布でふいてください。

水場（浴室や台所など）での使用時のお願い

以下をお守りください。誤った使用は故障の原因になります。

- 端子ふたをしっかりと閉じる
- AC アダプターを接続して使用しない
- ヘッドホンを接続して使用しない
- 故意に水の中や湯ぶねの中などに入れたり、水中で操作しない
誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って柔らかい布でふいてください。
- 浴室など湿気の多い場所に放置しない
- サウナやミストサウナで使用しない
- 寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない
モニターが冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、つゆつきが起きてモニター内部に水滴が付くことがあります。(→9「つゆつきについて」)

モニターを洗うときのおお願い

- 洗剤は市販の食器用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。原液では使わないでください。
- 洗ったあとは、洗い残しのないように水洗いしてください。
- 酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・業務用洗剤やヤシの実などを使用した自然材料洗剤は使わないでください。
- 種類の異なる洗剤を混ぜて使わないでください。
- 洗うときは、手洗い、もしくは柔らかい布のようなものをご使用ください。研磨剤入りやナイロンたわしはモニターの表面を傷つけますので、絶対に使わないでください。
- 食器洗い乾燥機での洗浄や乾燥はできません。
- ご使用いただける食器用洗剤については、下記のホームページでご確認ください。

<http://panasonic.jp/support/av/kitchen/>

防水性を保つために

モニターを落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない

モニターが変形や破損し、防水性が保てなくなります。

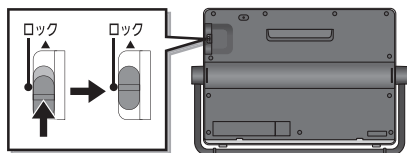
防水性を維持するため、2年に1度はモニターの内部にあるゴムパッキンなどの防水に関する部品の交換（有料）をお勧めします。お買い上げの販売店または「修理ご相談窓口」（→裏表紙）へお問い合わせください。

端子ふたの取り扱い

ふたが開いたまま使用すると内部に水が入り故障の原因になります。

ご使用前には、以下の操作でふたをロックしてください。

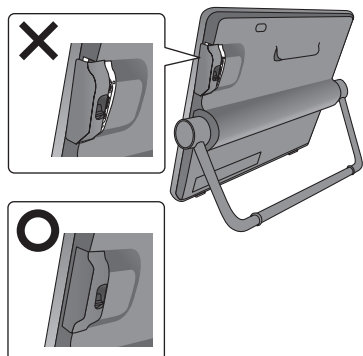
ロックつまみを、赤い部分が見えなくなる位置まで上に動かす（つまみの凸部が“ロック”の線にそろえるようにする）



ふたを閉じるときは、以下のことに気を付けてください。

- 手がぬれた状態やモニターに水滴が付いたままですぐにふたを開け閉めしないでください。
- ふたを閉じたあと、隙間がないか確認してください。

隙間がある例



水場（浴室や台所など）での使用後

モニターを乾いた柔らかい布でふき、室内に置いてください。

- 入浴剤の使用後は、まず水で洗い流してください。
- ACアダプターは防水仕様ではありません。
- DC IN 端子（→10）や AC アダプターの DC プラグに水分や汚れがある場合は、DC プラグを接続する前に綿棒や布などでふき取ってください。
- 石けん水やシャンプーなどがかった場合は、常温の水道水を弱めの水量にして洗い流したあと、ふいてください。
- ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
- 寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくことで凍結し、ふたが開かなくなるなどの原因になります。

万一、モニター内部に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いによる故障の場合は保証対象外となります。

お手入れ

チューナー部をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜き、乾いた柔らかい布でふいてください。モニターをお手入れするときは、ACアダプターを外した状態で、乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- 化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。なお、液晶画面には使用しないでください。
- チューナー部、モニターの取り扱いについては、内蔵の取扱説明書（→2）をご覧ください。

お知らせ

- モニターの液晶画面や画面の周りを固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷が付く原因になります。

接続の流れ

接続1

miniB-CAS (ミニビーカス) カードを挿入する (→ 右記)

接続2

アンテナケーブルをつなぐ (→17)

接続するご家庭のアンテナ端子や接続機器に合わせて接続を行ってください。

モニターとチューナー部のみ使用する場合

アンテナ端子がひとつの場合 **A** (→17)

アンテナ端子が別々の場合 **B** (→17)

チューナー部を他のテレビと接続する場合 **C** (→18)

チューナー部を他のテレビおよびレコーダーと接続する場合 **D** (→19)

セットトップボックスを利用する場合 **E** (→20)

接続3

電源コードを接続する (→21)

設定

設定

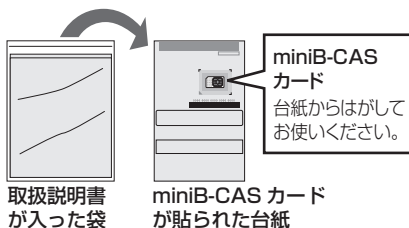
モニターとチューナー部の設定をする (→25)

接続1

miniB-CAS (ミニビーカス) カードを挿入する

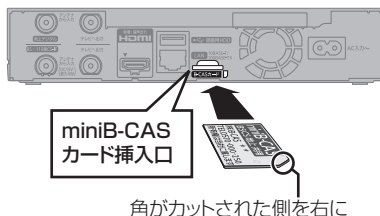
デジタル放送の受信には、チューナー部への miniB-CAS カード (付属) の常時挿入が必要です。

1 miniB-CAS カードを用意する



2 miniB-CAS カードを奥までしっかり差し込む

挿入 / 取り出しをするときは、電源コードが差し込まれていないことを確認してください。



- miniB-CAS カードの裏面に記載されている番号は、NHK へのお知らせや有料放送の契約内容の管理や問い合わせに必要です。メモ (→47) などに控えておいてください。
- チューナー部でも番号を確認できます。内蔵の「取扱説明書」(→2) をご覧ください。

お問い合わせは (紛失時など)

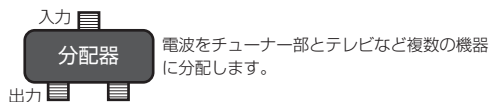
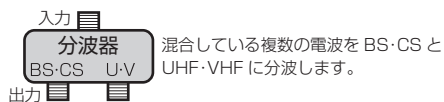
(株) ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ
カスタマーセンター
TEL : 0570-000-250

お知らせ

- miniB-CAS カード以外は絶対に挿入しないでください。
- miniB-CAS カードは小さいものです。紛失しないようにお気をつけください。

接続2 アンテナケーブルをつなぐ

接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。

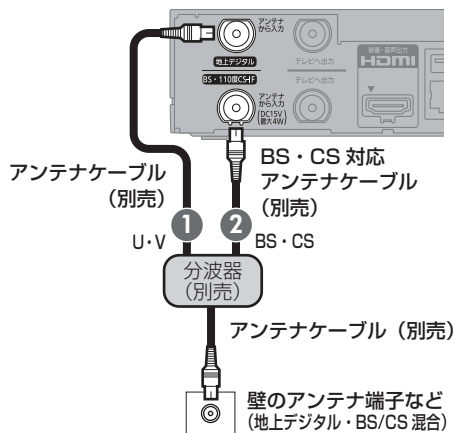


お知らせ

- アンテナケーブルをアンテナに直接接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをお勧めします。F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付け過ぎると、チューナー部内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使ってチューナー部とテレビに BS・110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。

A

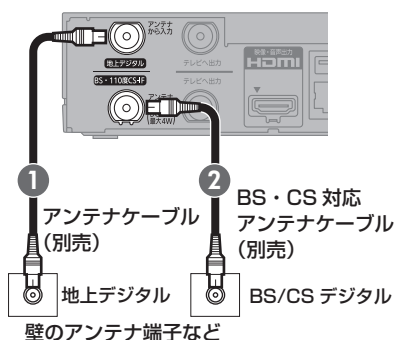
モニターとチューナー部のみ使用する
場合
(アンテナ端子がひとつの場合)



地上デジタル放送のみ視聴する場合は、
地上デジタル端子のみ接続してください。
その場合は分波器は必要ありません。

B

モニターとチューナー部のみ使用する
場合
(アンテナ端子が別々の場合)



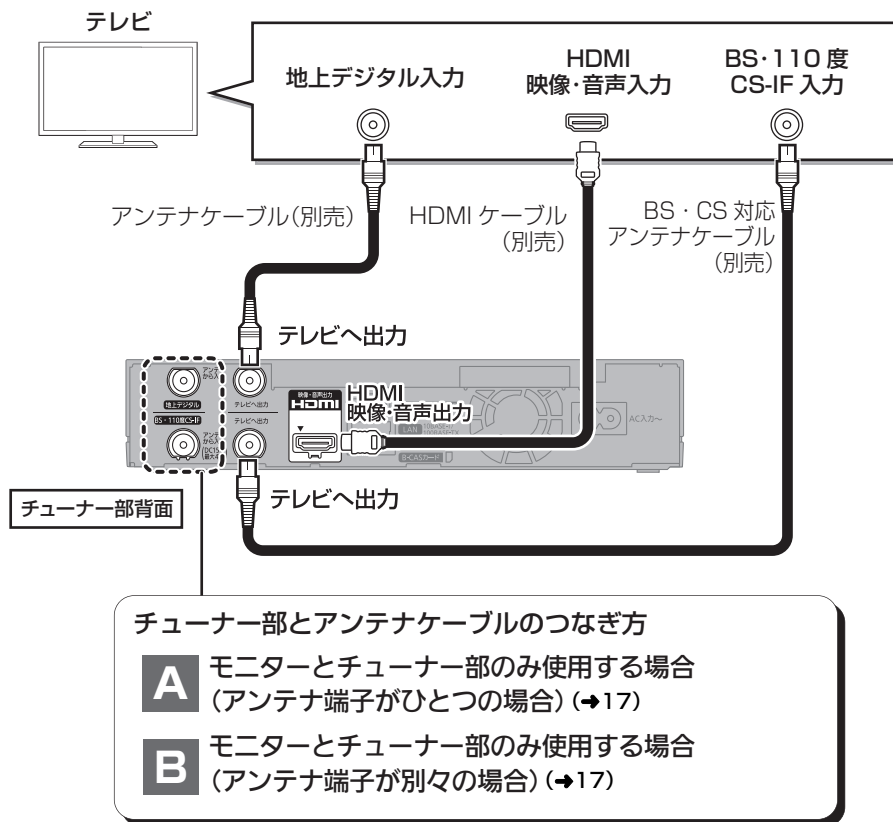
地上デジタル放送のみ視聴
する場合、②は不要です。

準備

C

チューナー部を他のテレビと接続する場合

他のテレビにチューナー部を接続すると、番組の編集やチャプターの作成などができるようになります。



お知らせ

- HDMI ケーブルは、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- HDMI ケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

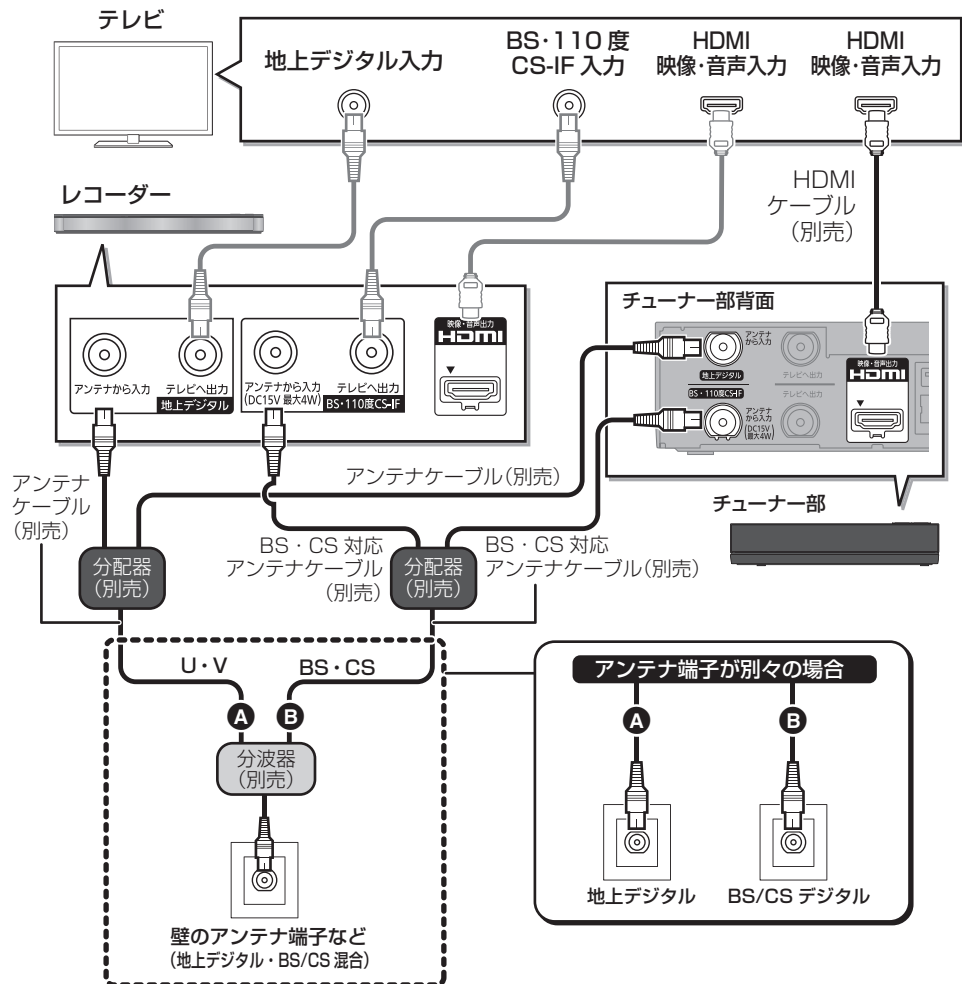
本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル (別売) が必要です。

本機はアナログ出力端子がありません。HDMI 端子のないテレビでは、ご利用になれません。

D

チューナー部を他のテレビおよびレコーダーと接続する場合

以下の接続でテレビとレコーダーとチューナー部を接続してください。



準備

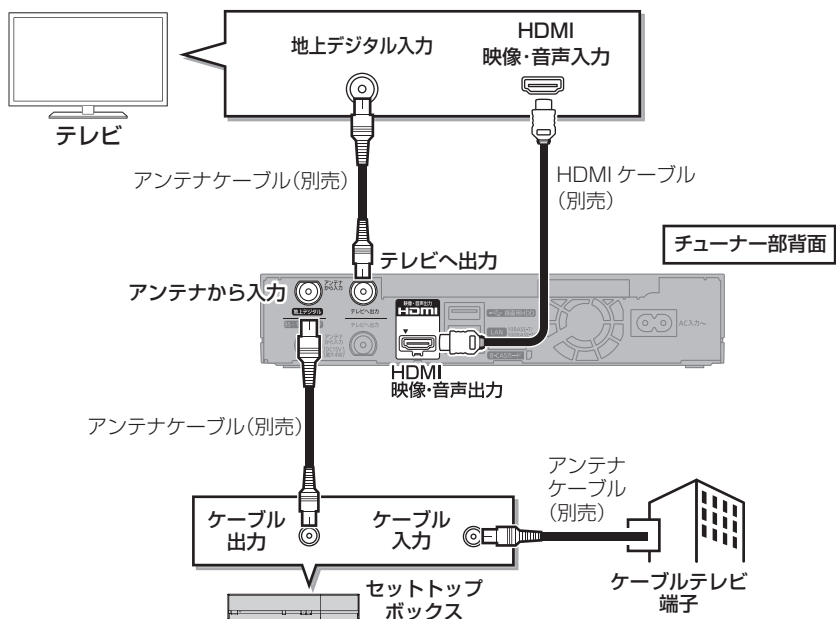
E

セットトップボックスを利用する場合

CATV の接続方法や、受信できる放送はさまざまです。詳しくはご契約の CATV 会社にご相談ください。

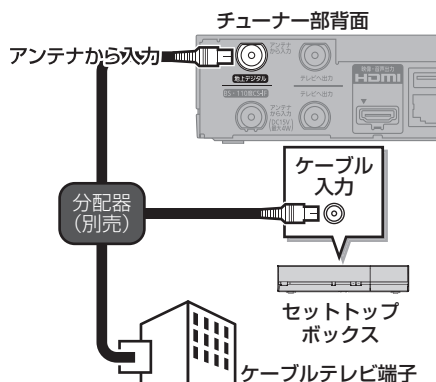
このページでは、CATV の地上デジタル放送の信号方式がパススルー方式®の場合の接続を紹介しています。

※ CATV 会社がデジタル放送を再送信する伝送方式です。セットトップボックスを経由せず本機で直接受信できます。



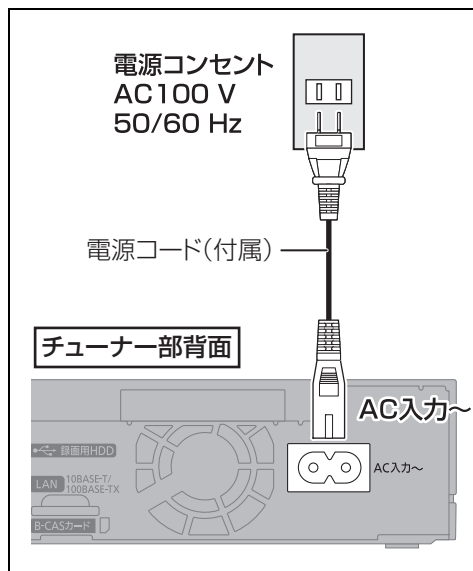
CATV セットトップボックスを接続して映像が乱れる場合

E の方法でアンテナ接続した場合、アンテナレベルが不足していたり、アンテナレベルが強過ぎるとテレビの映像が乱れるときがあります。その場合は、右記のようにアンテナ接続をしてください。



接続3 電源コードを接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



🔌 ネットワークに接続する場合は、電源コードを接続する前に、機器に応じた接続をしておいてください。(→26～28)

🔌 長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

(消費電力：待機時 →43)

● 電源コードを抜いている場合：

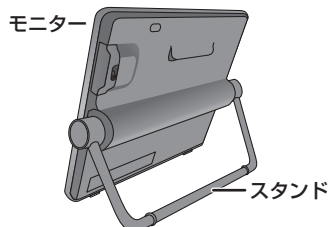
- ・ 自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
- ・ テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

🔌 接続終了後は

チューナー部とモニターの設定を行ってください。(→25)

モニターを設置する

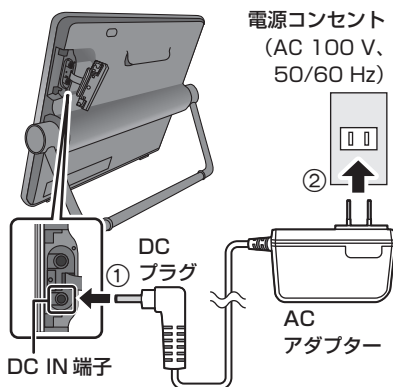
1 スタンドを動かし、水平で安定した場所に置く



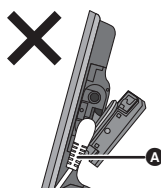
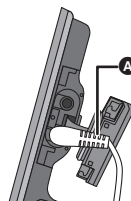
モニターは指定のポジション (→22) で設置して使用してください。

2 モニターに AC アダプターを接続する

DC プラグを奥までしっかり挿入してください。



DC プラグの A の部分を左記イラストの向きにして挿入してください。



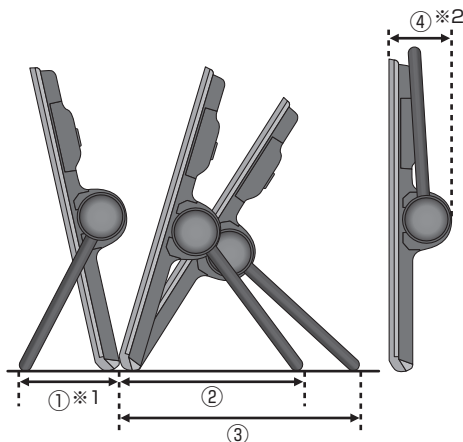
DC プラグの A の部分を左記イラストの向きで挿入すると、挿入が不完全になり、使用中に抜けたり、充電ができないことがあります。

準備

準備する (続き)

スタンドの調整について

使用状況に合わせて、スタンドを調整してモニターを設置することができます。(4 ポジション)



- スタンドを使用したときのモニターの奥行きは以下になります。

UN-15T8D | UN-15CT8D

① 90 mm ② 134 mm ③ 199 mm ④ 36.7 mm

UN-10T8D | UN-10CT8D

① 63 mm ② 106 mm ③ 148 mm ④ 36.2 mm

※ 1 前傾姿勢 (①) でのご使用時は、転倒防止のためスタンドを開ききって置いてご使用ください。

※ 2 モニター引っ掛け時に使用します。

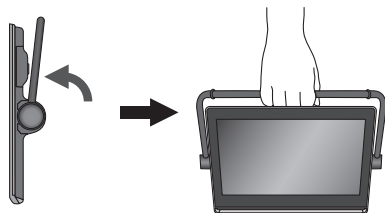
設置場所について

モニターは、不安定な場所に置かないでください。テーブルの上などに置いて使用するとき、万一転倒しても落下しないように、モニターの前後左右に十分なスペースを確保して置いてください。

持ち運びについて

スタンドを上にとすると、スタンドを持ってモニターを運ぶことができます。スタンドを持つ場合は、スタンドの中央をしっかりと握るようにしてください。

- カチッと音のする位置で止めてください。



⚠ 注意



モニターのスタンド以外を片手でつかんで持ち上げたり、運んだりしない



落下すると、けがの原因になることがあります。

- また、製品の故障の原因にもなります。

モニターを引っ掛けて使用する

モニターをパイプなどに引っ掛けてご使用になるときは、以下の内容をよくお読みください。

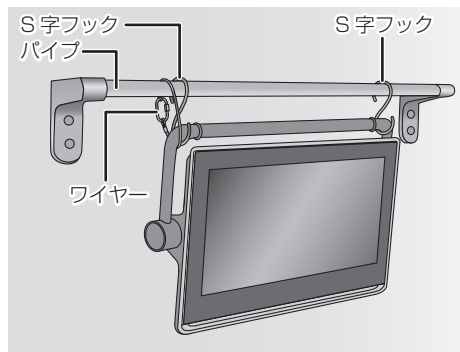
■ 引っ掛け時の留意点

- AC アダプターを接続して使用しない
- コンロや熱の発生源の近くで使用しない
- 熱い料理などが置かれているところで使用しない
- タッチパネルを操作するときはモニターに手を添えて操作する

地震の場合などに落下するおそれがあります。安全のため、必ずワイヤーで落下防止をしてください。

- S 字フックが外れた場合などに、モニターが周囲のものに当たらないようにワイヤーをつないでください。

引っ掛け時のイメージ図



■ 用意する物

● S 字フック：2 個（市販品）

- ・ 耐荷重：1 個当たり 5 kgf 以上
- ・ 内径：15 mm ～ 25 mm
- ・ 材質：金属
- ・ 太さ：4 mm 以下

S 字フックはしっかりと引っ掛かる形状のものをお選びください。

● ワイヤー（市販品）

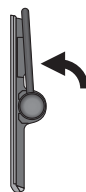
- ・ 耐荷重：10 kgf 以上
- － ワイヤーは落下防止用のワイヤーなどをお選びください。
- － 長さは S 字フックより少し長めのものをお選びください。

■ パイプについて

- モニターを引っ掛けるパイプは耐荷重 10 kgf 以上の備え付けのものをご使用ください。
- パイプは両側がしっかりと固定されている、金属製のものをご使用ください。
- 吸盤や両面テープで固定されたパイプは、使用しないでください。
- パイプを新たに設置される場合は、工事専門業者にご依頼ください。
- パイプの耐荷重がご不明な場合は、施工業者に調査をご依頼ください。
- パイプがしっかりと固定されているか定期的にご確認ください。

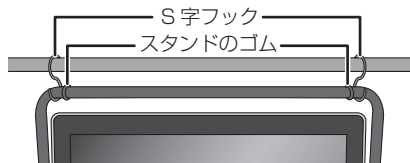
■ 引っ掛け方

- ① 備え付けのパイプに 2 個の S 字フック（市販品）を掛ける
- ② モニターのスタンドを上にする



③ 2 個の S 字フックにスタンドを引っ掛ける

- S 字フックがスタンドのゴムよりも外側になるように設置してください。



- 2 個の S 字フックは以下の間隔で引っ掛けてください。
- ・ UN-15T8D | UN-15CT8D 約 37 cm
- ・ UN-10T8D | UN-10CT8D 約 21 cm

④ ワイヤー（市販品）をモニターのスタンドとパイプに通し、しっかりとつなぐ

- モニターを外すときは、モニターがしっかりと S 字フックに引っ掛かっているのを確認してから、ワイヤーを外し、モニターを S 字フックから外してください。

充電について

お買い上げ時、充電式電池は充電されていませんので、充電してからお使いください。

- モニターはリチウムイオン充電式電池を内蔵しています。製品廃棄のとき以外は取り外さないでください。

モニターに AC アダプターを接続する (→21)

充電中は、ランプが赤に点灯、完了すると消灯します。



- 「エコ充電」(→38) を「入」にして充電すると、充電式電池の充電を約 80% に制御するため、充電式電池の寿命を延ばすことができます。
(お買い上げ時の設定は「切」です)

お知らせ

- **AC アダプターは防水仕様ではありません。**
DC IN 端子や AC アダプターの DC プラグに水分や汚れがある場合は、AC アダプターを接続する前に綿棒や布などでふき取ってください。
- 電源が切れた状態でも、電力を消費しています。
(消費電力：待機時 →43)
長期間使用しないときは、節電のため電源プラグをコンセントから抜くことをお勧めします。

充電時間と電池持続時間

充電時間 ^{*1}	電源「切」時	電源「入」時
	UN-15T8D UN-15CT8D 約 4 時間	UN-15T8D UN-15CT8D 約 10 時間 30 分
	UN-10T8D UN-10CT8D 約 3 時間 30 分	UN-10T8D UN-10CT8D 約 9 時間 30 分

電池持続時間 ^{*2} スピーカー使用	UN-15T8D UN-15CT8D
	約 2 時間 30 分 ^{*3}
電池持続時間 ^{*2} ヘッドホン使用	UN-10T8D UN-10CT8D
	約 2 時間 50 分 ^{*3}
	UN-15T8D UN-15CT8D
	約 2 時間 40 分 ^{*3} 約 3 時間 30 分 ^{*4} 約 2 時間 20 分 ^{*5}
	UN-10T8D UN-10CT8D
	約 3 時間 ^{*3} 約 3 時間 30 分 ^{*4} 約 2 時間 40 分 ^{*5}

- * 1 20℃
- * 2 テレビ視聴時 / 20℃ / エコ充電「切」 / 音量「8」
- * 3 画質・音質の設定：画質「スタンダード」
(お買い上げ時の設定)
- * 4 画質・音質の設定：画質「ユーザー」、明るさ「-5」
- * 5 画質・音質の設定：画質「ダイナミック」
- エコ充電「入」で充電した場合の電池持続時間は、エコ充電「切」時の約 80% になります。
- 電池持続時間は使用条件により短くなる場合があります。
- 繰り返しご使用になりますと電池持続時間が徐々に短くなります。

電池の残量表示について

モニター画面のステータスバー (→31) に電池の残量が表示されます。



- 点滅している場合、充電してください。

AC アダプター接続中

エコ充電「入」

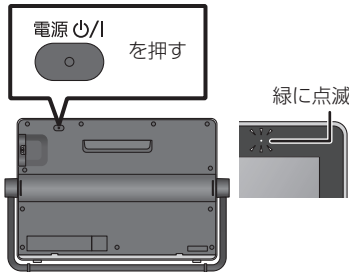


エコ充電「切」



モニターとチューナー部の距離を近づけた状態で設定してください。

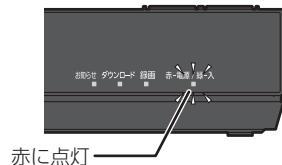
1 モニターの電源を入れる



電源を切るときも、[電源 〇/I]を押してください。モニター操作はチューナー部の電源が「切」の状態でも操作できます。

チューナー部の電源ランプが赤に点灯しているのを確認してください。

電源ランプが点灯していない場合は、電源コードを接続してください。



2 モニターの「接続開始」をタッチする

接続中の画面が表示され、チューナー部の電源が自動的に入ります。

無線接続すると、モニター画面のステータスバー(→31)にアイコン()が表示されます。

- 本数は受信レベルを表します。
- 本数が多い場合でも、電波干渉などの影響で、映像や音声途切れたり停止することがあります。

画面に従って、設置設定をモニターを使って行ってください。

お住まいの地域の設定

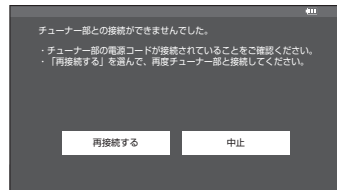
お住まいの地域の郵便番号を設定してください。

アンテナレベルを確認するには

- ①「ホーム」をタッチする
 - 表示がない場合は、画面に触れると表示します。
- ②「テレビ」をタッチする
- ③「音声・字幕・画質」をタッチする
- ④「画質・音質の設定」をタッチする
- ⑤「アンテナレベル」をタッチする

無線接続が失敗する場合は

画面に従って、無線接続を行ってください。



- ①「再接続する」をタッチする
- ②チューナー部の電源を入れる
 - 電源ランプが緑に点灯するまでお待ちください。
- ③「次へ」をタッチする
- ④チューナー部の[リンク]を5秒以上押す
 - 電源ランプが緑に点滅するまで押してください。
- ⑤「接続開始」をタッチし、無線接続を開始する

上記操作を行っても無線接続が失敗する場合は、以下の手順で機器をリセットしたあと設定し直してください。

- ①チューナー部とモニターの[電源 〇/I]を3秒以上押して、電源を切る
- ②チューナー部の電源コードを抜き、モニターのACアダプターを取り外し、約1分後に再び取り付ける

受信できるチャンネルが少ない場合は

「かんたん設置設定」(→38)でチャンネル設定をやり直してください。

受信チャンネルを修正したい場合は

手動で受信チャンネルを修正したい場合は「マニュアルチャンネル設定」(→38)で設定を行ってください。



準備

ネットワークの接続をする

無線ブロードバンドルーターなどを使ってチューナー部とモニターを接続すると、以下のネットワーク機能が利用できるようになります。

モニターで利用

- 他の機器とのお部屋ジャンプリンク (→36)
- ウェブブラウザを使う (→37)

チューナー部で利用

- 他の機器とのお部屋ジャンプリンク (→36)
- パソコンから録画などの操作、宅外リモート機能、1ヵ月番組表・注目番組、ディモラーサービスなどは、内蔵の「取扱説明書」をご覧ください。(→2)

お買い上げ時の接続では…

モニター

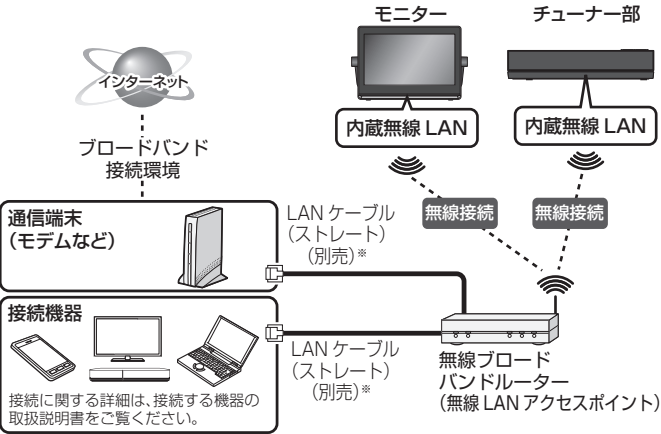
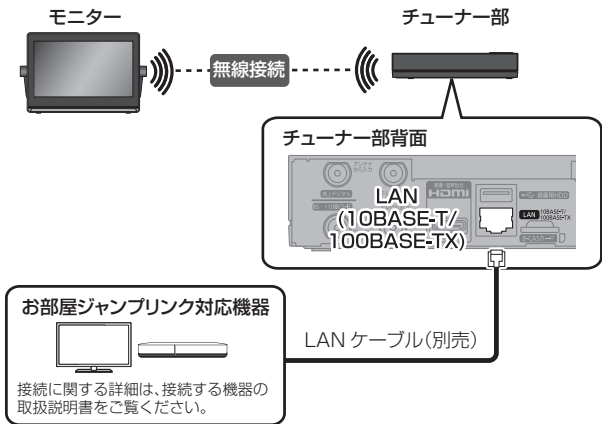
チューナー部

ネットワーク機能は利用できません。

- 動作確認済みの無線ブロードバンドルーター(無線 LAN アクセスポイント) については、下記サポートサイトでご確認ください。
<http://panasonic.jp/support/>

接続方法	接続図	設定
<div><div>A</div><div>ブロードバンドルーターと有線接続</div></div>	<div><div><div>モニター</div><div>チューナー部</div></div><div><div>無線接続</div></div><div><div>インターネット</div><div>ブロードバンド接続環境</div></div><div><div>通信端末 (モデムなど)</div><div>LAN ケーブル (ストレート) (別売) *2</div></div><div><div>接続機器</div><div>LAN ケーブル (ストレート) (別売) *2</div></div><div><div>ハブまたはブロードバンドルーター *1 (アクセスポイント)</div></div></div>	<div><div>不要</div><div>お買い上げ時の設定 (→29) にしておいてください。</div></div>

●有線接続時は、100BASE-TX 対応のブロードバンドルーターをお使いください。

接続方法	接続図	設定
<p>B</p> <p>無線ブロードバンドルーター (無線 LAN アクセスポイント) と無線接続</p>	 <p>※ 接続機器とルーターは、LAN ケーブルまたは無線 LAN で接続してください。</p>	<p>必要</p> <p>ネットワーク設定 (→29) を行ってください。</p> <p>●「接続方法の変更」で②を選んでください。(→29 手順 5)</p>
<p>C</p> <p>お部屋ジャンプリンク機器と有線接続</p>	 <p>この接続で利用できるネットワーク機能は、「他の機器とのお部屋ジャンプリンク」のみです。(→36)</p>	<p>不要</p> <p>お買い上げ時の設定 (→29) にしておいてください。</p>

ネットワークの接続をする (続き)

接続方法	接続図	設定
<div>D</div> <p>無線 LAN アクセスポイントと、モニターは無線、チューナー部は LAN ケーブルで接続</p>		<div>必要</div> <p>ネットワーク設定 (→29) を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none">●「接続方法の変更」で④を選んでください。(→29 手順 5)

ネットワークの接続方法の変更時に

- チューナー部に LAN ケーブルを抜き差しする場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いた状態で行ってください。
- 録画などチューナー部が動作中は、ネットワーク設定を変更できません。

LAN ケーブルをご使用時に

- 接続後にテレビの映りが悪くなったときは、LAN ケーブルとアンテナケーブルを離してみてください。
- それでも良くならない場合は、シールドタイプの LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- カテゴリ 5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備 (有線 LAN ルーター、回線端末装置) に接続してください。

ネットワークの設定をする

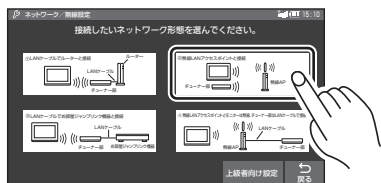
- 1 モニターで
「ホーム」をタッチする
• 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

- 2 「設定」をタッチする

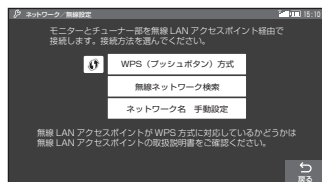
- 3 「ネットワーク／無線設定」をタッチする

- 4 「接続方法の変更」をタッチする

- 5 「② 無線 LAN アクセスポイントと接続」を
タッチする



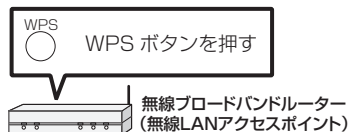
- 6 接続方法をタッチする



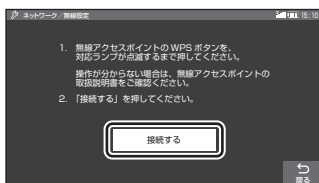
無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）が WPS (Wi-Fi Protected Setup™) に対応している場合は、「WPS (プッシュボタン) 方式」をタッチすると、簡単に設定することができます。対応していない場合は「無線ネットワーク検索」をタッチして、設定してください。

「WPS (プッシュボタン) 方式」を選んだ場合

- 7 無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）の WPS ボタンを押す
• 操作方法は接続する機器の説明書などでご確認ください。

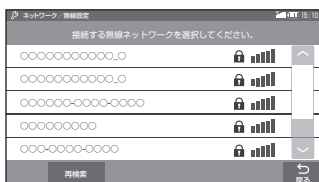


- 8 「接続する」をタッチする



「無線ネットワーク検索」を選んだ場合

- 7 接続したい機器をタッチする



- 8 暗号化キーを入力し、「完了」をタッチする

• 入力する暗号化キーは、接続する機器の説明書などでご確認ください。

- モニターとチューナー部をお買い上げ時の状態に戻すには、左記手順 4 のあとモニターの画面に従って操作してください。

お知らせ

- 接続に失敗する場合は、画面の表示をご確認ください。(→40)
- WPSとは、無線 LAN 機器との接続やセキュリティに関する設定を簡単に行うことができる機能です。お持ちの無線ブロードバンドルーター（無線 LAN アクセスポイント）が対応しているかどうかは、ルーターの説明書をご覧ください。

モニター画面の操作について

モニターの操作は画面に触れて行います。

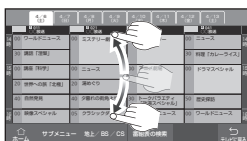
項目を選ぶ

画面に触れて離す
(タッチする)



表示を切り換える

指で画面を上下ま
たは左右に払う
(フリックする)



録画した番組の再生位置や表示を前後させる

画面に触れたまま指を左右または上下に動かす
(ドラッグする)



プログレスバー

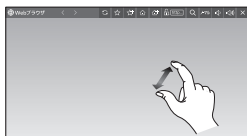
- 丸部分を指で触れたまま移動させます。
- 直接触れると、その位置に飛ぶこともできます。

再生を先に進めたり戻したりするときや、一覧表示を前後させるときなどに、この操作を行います。

ブラウザ表示を拡大する・縮小する

画面に触れたまま 2 本の指の間隔を広げる
(ピンチアウトする) と拡大します

画面に触れたまま 2 本の指の間隔を狭める
(ピンチインする) と縮小します



お知らせ

- モニターを持つ手が画面を押さえていると、正常に動作しません。
 - 先のとがったものや硬いもので押さないでください。
 - 爪の先で触れたり、手袋をはめた状態で触れたりすると反応しない場合があります。
 - 画面を強い力でこすったり、押しすぎたりしないでください。
- 画面が指紋などで汚れた場合は、電源を切った状態にしてから乾いた柔らかい布などでふいてください。
- 市販の画面保護シートによっては、視認性や操作性が損なわれる場合があります。市販の画面保護シートをご使用になる場合は、その注意書きに従ってください。
 - モニターが倒れないように片方の手で支えながら操作してください。
 - 画面や手がぬれた状態で操作する場合、反応が悪くなることがあります。

ホーム画面について

モニターでの操作は、ホーム画面から行うことができます。



ホーム画面は、「ホーム」を選んだときに表示されます。(表示がない場合は、画面に触れると表示します)

- 電源「入」時にホーム画面を表示させるかどうかの設定ができます。(→38「起動画面設定」)
- ホーム画面のデザインを変更することができます。(→38「ホーム画面デザイン」)

ステータスバーの表示について

モニターの状態は、画面上部のステータスバーに表示されるアイコンで確認することができます。

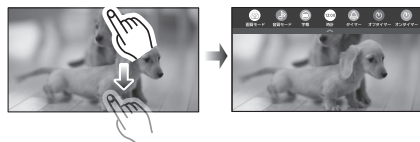


- ステータスバーの詳細については、内蔵の取扱説明書（→2）をご覧ください。

コントロールバーを利用する

コントロールバーでは、画質や音質の調整、タイマーなどの操作を簡単に行うことができます。

1 モニターのタッチパネル上部を指で触れたまま下にドラッグする



2 アイコンをタッチする

コントロールバーの表示を消すには

コントロールバー以外の画面に触れる

- 画面に触れないまま約 10 秒経過すると、自動的に消えます。
- コントロールバーの詳細については、内蔵の取扱説明書（→2）をご覧ください。

テレビを見る / 放送中の番組を録画する

放送画面が表示されている場合は、**手順3**から操作を行ってください。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「テレビ」をタッチする

3 見たいチャンネルをタッチして選ぶ

- メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。
- チャンネルは、指で画面を左右に払って切り換えることもできます。

視聴中の操作

手順3の画面で、項目を選んで操作することができます。

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

無線電波状態




誤動作を防止する

(→34
手順3へ)

音声・字幕・画質
の設定

音量調節/
消音 (→33手順3へ)

- 「消音」をタッチすると、一時的に音を消します。(もう一度タッチすると音が出ます)
- を3秒以上触れたままにするとタッチパネルの水滴などによる誤動作防止を有効にします。もう一度3秒以上触れたままにすると解除します。別売りリモコンでホームなど別の画面を表示しても解除します。
- 音声・字幕・画質の設定については、内蔵の取扱説明書(→2)をご覧ください。

お知らせ

- モニターでデータ放送を見ることはできません。
- 毎朝定番チャンネルについて
「毎朝定番チャンネル」(→38)を「入」にすると、朝(午前5時～10時)に初めて電源を入れたとき、視聴履歴を基によく見るチャンネルを自動で選択します。
- 実際の放送よりも数秒遅れてモニターに表示されます。
- 同じチャンネルを連続して8時間視聴すると、画面が一瞬途切れます。
- 無線状態によっては、視聴中に映像や音声途切れたり、停止する場合があります。
「無線電波状態」から無線状態を確認してください。受信レベルが高いのに映像伝送レベルが低い場合、他の無線機器との干渉が考えられます。
- NHKのBS設置の青ボタン操作メッセージが表示された場合、モニターでは操作することはできません。表示された連絡先にお電話ください。

放送中の番組を録画する

視聴中の番組をチューナー一部のHDDに録画します。

- お買い上げ時は、5倍録モードで録画します。
録画モードを変更したい場合は、「録画モード設定」(→38)で設定してください。

左記手順3のあと

4 「録画する」をタッチする



録画中の操作

録画中に項目を選んで操作することができます。

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。
- 「録画停止」をタッチすると、録画を停止します。
- 「追っかけ再生」をタッチすると、録画中の番組を先頭から再生します。

お知らせ

- 「追っかけ再生」時は、「無線と映像品質の設定」(→38)にかかわらず、「画質優先」で再生されます。

予約録画する

チューナー部の HDD または USB-HDD に予約録画します。

- お買い上げ時は、5 倍録モードで録画します。
録画モードを変更したい場合は、「録画モード設定」(→38) で設定してください。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「番組表」をタッチする

3 予約したい番組をタッチして選ぶ

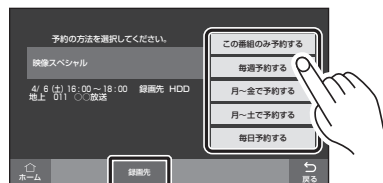
日付の切り換え



放送波の切り換え 番組を検索する (→35)

- サブメニューについては、内蔵の取扱説明書 (→2) をご覧ください。

4 予約の方法をタッチして選ぶ

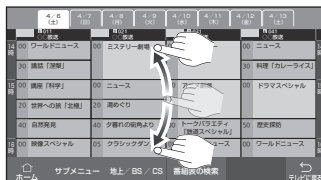


USB-HDD 接続時に表示

録画先を変更したい場合は、予約の方法を選ぶ前に「録画先」をタッチして、録画先を選んでください。

チャンネル／時間の切り換え

チャンネルは、指で画面を左右に払って、時間は、指で画面を上下に払って切り換えることができます。



予約内容の確認・取り消し

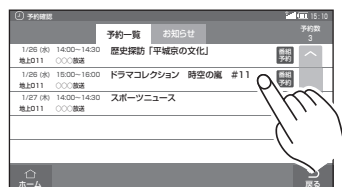
1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「録画一覧」をタッチする

3 「予約を確認する」をタッチする

4 番組をタッチして選ぶ



「お知らせ」をタッチすると、予約に失敗した番組の履歴などを確認できます。

5 予約を取り消す場合：

「予約を取り消す」をタッチする

録画した番組を再生する / 消去する

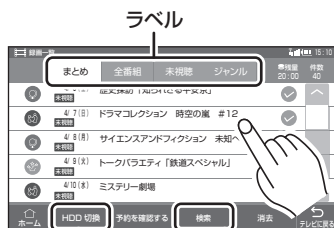
チューナー部の HDD または USB-HDD に録画した番組を再生します。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「録画一覧」をタッチする

3 再生したい番組をタッチして選ぶ



USB-HDD接続時に表示
選ぶとUSB-HDDの録画
一覧を表示します。

番組を検索する
(→35)

- ラベルをタッチすると、ラベル内容に合った番組を表示します。
 - ・まとめ：毎日・毎週予約した番組などはまとめて表示
 - ・全番組：録画した番組をすべて表示
 - ・未視聴：録画してまだ見ていない番組を表示
 - ・ジャンル：選択したジャンルに該当する番組のみを表示
- 一度再生した番組は、前回停止した位置から再生します。

最後に再生した録画番組は、ホーム画面から続きを再生できます。



- 最後に再生された番組の画像（サムネイル）が表示されます。（サムネイルは、チューナー部の電源「切」時に作成されます）

再生中の操作

再生中に表示される画面で、項目を選んで操作することができます。

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。



- 「早戻し」「早送り」は、タッチすることにより、または触れたままにすると速度が速くなります（5段階）。

番組を消去する

不要な番組を消去します。

左記手順2のあと

3 消去したい番組の ✓ をタッチする

- ✓ が赤色になります。

4 「消去」をタッチする

5 「消去実行」をタッチする

お知らせ

- 録画中の番組は、「無線と映像品質の設定」(→38)にかかわらず、「画質優先」で再生されます。
- 無線状態によっては、再生中に映像や音声途切れたり、停止する場合があります。

番組を検索する

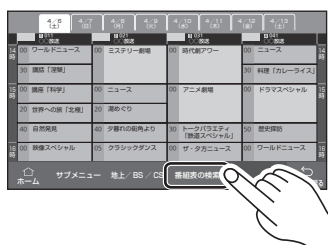
番組表から番組を検索する

番組表の中から指定した検索ワードで番組を探すことができます。

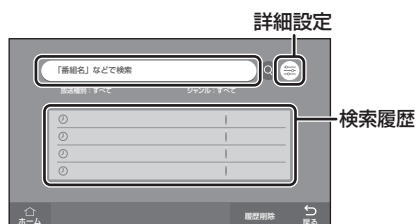
- 1 「ホーム」をタッチする
• 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

- 2 「番組表」をタッチする

- 3 「番組表の検索」をタッチする



- 4 「番組名」などで検索」をタッチする



- ③から以下の検索条件を設定できます。
 - ・ 放送種別
 - ・ ジャンル
- 検索履歴の欄をタッチすることで、前回の検索履歴と同じ条件を設定することができます。履歴を選択して検索する場合は、履歴選択後に をタッチしてください。
- ☑ 検索履歴を削除するには「履歴削除」をタッチする

- 5 検索ワードを入力する

- 6 「完了」をタッチする

録画した番組を検索する

チューナー部に録画した番組やお部屋ジャンプリンク対応機器で録画した番組の中から、指定した検索ワードで番組を探すことができます。

- 1 「ホーム」をタッチする
• 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

- 2 「検索」をタッチする

- 3 「「番組名」などで録画番組を検索」をタッチする



- ③から以下の検索条件を設定できます。
 - ・ 検索対象
 - ・ 検索機器
 - ・ ジャンル
- 検索履歴の欄をタッチすることで、前回の検索履歴と同じ条件を設定することができます。履歴を選択して検索する場合は、履歴選択後に をタッチしてください。
- ☑ 検索履歴を削除するには「履歴削除」をタッチする

- 4 検索ワードを入力する

- 5 「完了」をタッチする

お知らせ

- 文字入力について詳しくは、内蔵の取扱説明書 (→2) をご覧ください。

お部屋ジャンプリンクを利用して 他の機器の録画番組を再生する

お部屋ジャンプリンク機能

お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- モニターはクライアントとして、お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されている番組の再生が行えます。(番組によっては、再生できない場合があります)
- お部屋ジャンプリンク対応機器および再生できるコンテンツについては、当社ホームページをご覧ください。
http://panasonic.jp/support/r_jump/
- 他社製の機器では使用できない場合があります。
- お部屋ジャンプリンクは、モニターとお部屋ジャンプリンク対応機器のみでは利用できません。モニターとチューナー部と対応機器がネットワークで通信できる状態になっている必要があります。

🔗 ネットワークの接続と設定をする (➡26～29)

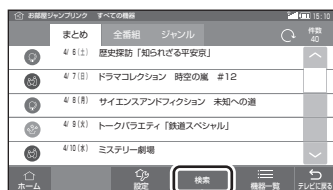
1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「お部屋ジャンプリンク」をタッチする

- お部屋ジャンプリンクの機能紹介画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- 番組情報の更新が始まった場合は、更新が終わるまでお待ちください。
- 機器一覧が表示された場合は、機器をタッチして選んでください。
- 「すべての機器」を選んだ場合は「放送中の番組」の選択ができません。

3 再生したい番組をタッチして選ぶ



番組を検索する (➡35)

🔔 お知らせ

- 再生したい番組が表示されないときは、画面右上の🔍をタッチしてください。
- チューナー部の電源が「切」のときに、「お部屋ジャンプリンク」録画一覧の番組を自動更新します。お部屋ジャンプリンク画面の「設定」の「自動更新の設定」で、自動更新の間隔を選択できます。
- 「お部屋ジャンプリンク」録画一覧に表示できる機器は最大10台まで、番組数は1台当たり最大4000番組までです。
- 音声がLPCMのときなど、正しく再生できない場合があります。
- 標準画質(DVD画質)で録画した番組や、本機がサポートしていない音声出力形式で録画された番組は「お部屋ジャンプリンク」録画一覧には表示されません。
- 接続する機器によっては、「まとめ」ラベル選択時のまとめ表示に対応していない場合があります。
- 接続する機器が表示されない場合は、接続する機器の設定もご確認ください。

ウェブブラウザを使う / チューナー部の操作

ウェブブラウザを使う

ウェブブラウザを使うと、インターネットを利用してホームページなどのウェブサイトを見ることができます。

🔌 ネットワークの接続と設定をする (→26 ~ 29)

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。制限機能を使用する場合は、「ブラウザ制限」(→38)を「する」に設定してください。

- ウェブブラウザを利用するには、設定した暗証番号の入力が必要になります。

🔍 お知らせ

- ブラウザの機能制限のため、サイトによっては動画などが正しく表示できないことがあります。
- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

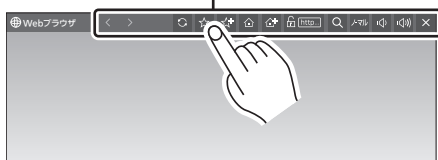
2 「ウェブ」をタッチする

3 見たいページを表示する

ツールバーを使う

ツールバーのアイコンを選んでブラウザを操作することができます。

ツールバー



- ツールバーやブックマークについては、内蔵の取扱説明書 (→2) をご覧ください。

チューナー部の操作

モニターの画面をリモコン表示に切り換えて、チューナー部を操作します。

- チューナー部の操作は別売のリモコンでも行えます。(→8)

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「チューナー操作」をタッチする



3 ボタンをタッチして、チューナー部を操作する



- 具体的な操作方法については、内蔵の取扱説明書をご覧ください。(→2)

🔍 お知らせ

- モニターの画面でチューナー部を操作するときは、チューナー部が見える位置から操作してください。

設定する

モニターの設定を変更します。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「設定」をタッチする

3 設定項目をタッチして選び、設定内容を変更する

- それぞれの設定項目について詳しくは、内蔵の取扱説明書（→2）をご覧ください。

テレビ機能設定

録画モード設定

無線と映像品質の設定

放送設定

選局対象

かんたん設置設定

マニュアルチャンネル設定

衛星アンテナの電源

消音操作での字幕表示

毎朝定番チャンネル

ニュース／天気予報録画設定

ニュース録画設定

天気予報録画設定

タイマー／省エネ設定

クイックスタート

エコ充電

無操作電源 [切]

無信号電源 [切]

ネットワーク／無線設定

接続方法の変更

ネットワーク／無線状態

詳細情報表示

原因と改善方法

宅外リモート接続設定

宅外リモート接続機能

機器パスワード初期化

お部屋ジャンプリンク設定

自動更新の設定

表示機器一覧設定

録画番組の情報を削除

無線設定

無線チャンネル

倍速モード

詳細設定

プロキシサーバー設定

Cookie 削除

HDD / USB-HDD 設定

HDD 設定

HDD のフォーマット

USB-HDD 設定

USB-HDD の登録

USB-HDD の取り外し

USB-HDD 管理

USB-HDD 登録の取り消し

起動画面設定

その他の設定

システム情報表示

ソフトウェア更新

ソフトウェア自動更新

ソフトウェア更新の実行

画面表示設定

ホーム画面デザイン

起動時のガイド表示

メニュータッチ操作ガイド

誤動作防止中のメッセージ

チューナー部の診断

制限項目設定

ブラウザ制限

暗証番号変更

暗証番号削除

設定リセット

モニターの設定リセット

モニターとチューナー部の設定リセット

リモコン設定

モニターリモコン受信

リモコンモード

リモコンエラー表示

取扱説明書

こんな表示が出たら

チューナー部

チューナー部のランプ (→11) の状態に応じて、下記の項目を確かめてください。

チューナー部のランプの状態	原因	対策
	ダウンロード実行中またはソフトウェアの更新中です。	“ダウンロード” ランプが消えるまで、チューナー部を操作することはできません。故障の原因となりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
	チューナー部の内部温度が上昇しています。安全のため動作停止中です。	ランプが消えるまで（約30分間）お待ちください。できるだけ風通しのよいところに設置し、背面の内部冷却用ファンや底面の吸気孔をふさがないでください。
	チューナー部が正常に動作しません。	チューナー部の【電源ON/OFF】を押し、電源を切/入してください。それでも症状が変わらない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	本機の動作に異常が確認されたため、正常に戻すための復旧動作中です。	ランプが消えれば使えます。消えない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
	アンテナ電源の異常です。	アンテナケーブル内で芯線と編組線が接触（タッチ）していないか確認してください。
	チューナー部の無線接続の準備ができていません。（【リンク】を押したとき）	しばらく待ってから【リンク】を押してください。モニターが無線接続済みの場合でも2回点滅します。


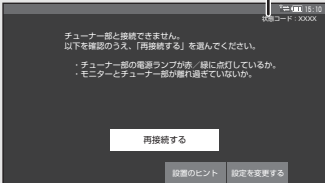
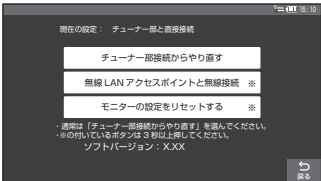
基本操作



必要なとき

こんな表示が出たら（続き）

モニター

<div>モニターのランプ：</div> <div> 赤で速く点滅</div>	<div>原因：</div> <p>充電式電池が故障しています。</p> <div>対策：</div> <p>電源を入れて画面の表示をご確認ください。</p>
<div>モニターの表示：</div> <div>電源「入」時に</div> <div><div>状態コード</div><div></div></div>	<div>原因：</div> <p>接続に失敗しています。</p> <div>対策：</div> <p>画面右上に表示される状態コードをご確認ください。</p> <p>「D011」：モニターとチューナー部との無線接続ができていません。</p> <p>「D001」：モニターとチューナー部との無線接続はできているが、通信ができていません。</p> <p>「A011」：モニターと無線アクセスポイントとの無線接続ができていません。</p> <p>「A001」：チューナー部と無線アクセスポイントとの無線接続ができていない、またはモニターとチューナー部との無線接続はできているが、通信ができていません。</p> <p>画面の指示に従って操作してください。</p> <ul style="list-style-type: none">チューナー部のネットワーク設定を変更した場合、モニター側でもネットワーク設定の変更が必要です。 <p>「設定を変更する」をタッチして、設定を変更してください。</p> <p>無線ブロードバンドルーターを使って接続する場合、「無線 LAN アクセスポイントと無線接続」をタッチしてください。</p> <div></div> <ul style="list-style-type: none">モニターとチューナー部がどのように接続されているかわからない場合、「設定を変更する」をタッチしたあと、「チューナー部接続からやり直す」をタッチし、いったんお買い上げ時の状態に戻してください。宅内ネットワークに接続する場合は、ネットワークの接続と設定を変更してください。（➡26～29）設定を変更してもうまくつながらない場合、お買い上げの販売店にご相談ください。（上記画面のソフトバージョンをお聞きすることがあります）

故障かな!?

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

「故障かな!?’の内容は、本機に組み込まれている内蔵の取扱説明書(→2)も併せてご覧ください。

次のような場合は、故障ではありません

- モニターの電源切 / 入時にスピーカーやヘッドホンから聞こえる音
- モニター充電中に、AC アダプターの内部で音がする
- モニターの液晶画面の 0.01 % の画素欠けや常時点灯
- チューナー部の電源切 / 入時の音
- チューナー部が以下の状態のときに、HDDの動作音が聞こえる場合があります。
 - ・番組表データを受信中
 - ・ソフトウェア更新中
 - ・録画中
 - ・録画モード変換時
 - ・予約録画終了時または午前 4 時ごろ (1 週間に 1 回程度) の、チューナー部全体の自動再起動時
- 無線の状態によっては、モニターでの視聴や再生中に映像や音声途切れたり、停止する場合があります。

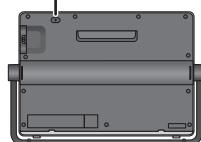
操作ができなくなったときは…

- 各種安全装置が働いていることがあります。

① [電源 〇/I] を押し、電源を切る

- モニターが切れない場合は、約 3 秒間押したままにすると強制的に切れます。
[それでも切れない場合は、伸ばしたクリップなどをリセットボタン(→10)に差し込んで押す]

モニター



[電源 〇/I] を
3秒以上押す

- チューナー部が切れない場合は、約 3 秒間押したままにすると強制的にリセットされます。
(それでもリセットされない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む)

チューナー部



[電源 〇/I] を
3秒以上押す

② [電源 〇/I] を押し、電源を入れる

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

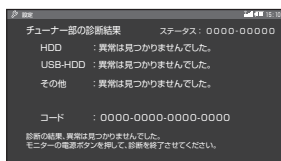
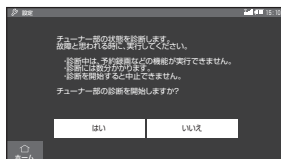
チューナー部の診断について

故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器の状態を診断することができます。

- ①「ホーム」をタッチする
- ②「設定」をタッチする
- ③「その他の設定」をタッチする
- ④「チューナー部の診断」を 3 秒以上触れたままにする
- ⑤「はい」をタッチする

- 診断を開始します。

例)



- すべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。
- チューナー部本体でもチューナー部の診断を行うことができます。詳しくは、内蔵の取扱説明書をご覧ください。(→2)

?

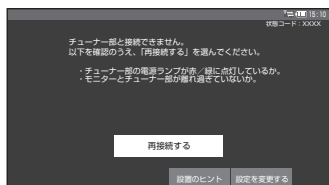
必要なとき

故障かな!?(続き)

モニター

操作ができない / チューナー部との接続ができない

- チューナー部の電源コードがつながっていますか。モニターを操作するには、チューナー部の電源コードが接続されている必要があります。
- チューナー部との無線接続が正しく設定されていますか。設定をやり直す場合 (→25、29)
- チューナー部の「ネットワーク通信設定」を変更していませんか。その場合は、モニター側でもネットワークの設定が必要です。(→29)
- チューナー部との接続に失敗すると下記の画面が表示されます。画面の指示に従い、再接続してください。



- チューナー部の電源ランプが赤に点灯していない場合は、一度チューナー部の【電源 ON/OFF】を3秒以上押し、リセットしてください。(→11)
- 再度、接続しても失敗する場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- タッチパネルの操作は、指で触れてください。(爪の先で触れたり、手袋をはめた状態で触れたりすると反応しない場合があります)
- ご使用されるインターネットサービスによっては IP アドレスが各機器に個別に割り振られない場合があります。その場合、モニターとチューナー部の接続ができません。有線 LAN ケーブルを外してチューナー部との接続が改善されるときは上記に該当する場合がありますのでインターネット事業者にお問い合わせください。
- 以下の場合、水滴などの影響によりタッチパネルが反応しにくくなる場合があります。その場合は、軽くふき取ってから操作してください。
 - ・タッチパネルがぬれた状態での操作
 - ・指が水や汗などでぬれた状態での操作
- 金属物をタッチパネルに近づけると、タッチパネルの動作が不安定になる場合があります。その場合は、金属物をタッチパネルから離してモニターの電源を入れ直してください。

映像が映らない / 映像が乱れる

- 以下の場合、テレビ放送受信時に映像が乱れたり、映像が映らないことがあります。故障ではありません。
 - ・気象条件が悪いためによる受信映像の乱れ
 - ・BS/CS 放送の一時的な休止による受信障害

自動的に電源が切れた

- 「無操作電源 [切]」(→38) や「無信号電源 [切]」(→38) が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- モニターの温度が上昇すると、安全のため自動的に電源が切れます。高温になる場所でのモニターの使用はしないでください。

充電しても使用できる時間が極端に短い

- 電池の寿命です。電池の交換は、「修理ご相談窓口」(→裏表紙) にお問い合わせください。電池が寿命の場合でも、AC アダプターを接続して使用することはできません。

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- 通信が混み合っている場合があるため、しばらく待つて再度実行してください。
- ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。
- ネットワークに関する詳細は、内蔵の取扱説明書 (→2) や当社ホームページ (→9) をご覧ください。

チューナー部を修理依頼するとき

- HDDの初期化 (録画内容の消去) に関するお願い
HDDは大変デリケートな部品です。細心の注意を払って修理を行います。修理過程においてやむをえず記録内容が失われたり、故障状態によっては HDD の初期化 (出荷状態に戻すため、記録内容はすべて失われます) や交換が必要な場合があります。
HDDの初期化に同意できない場合は、その旨を修理をご依頼されるときにご連絡ください。(ただし、初期化しないと修理ができない場合があります)
- USB-HDDに関するお願い
USB-HDD をお使いになっていた場合、チューナー部の修理過程において USB-HDD の登録が取り消される場合があります。
再度登録いただければお使いいただけますが、記録内容はすべて失われます。このような場合、記録内容 (データ) の修復などはできません。あらかじめご了承ください。

チューナー部

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 13 W

待機時（節電待機時）：

電源ランプ消灯時・約 0.7 W^{※1※2※3}

待機時（標準待機時）：

電源ランプ点灯時・約 5.5 W^{※1※4}

- ※1・地上デジタルアッテネーター：「入」
 - ・BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「切」
 - ・BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「切」
 - ・外部接続端子（LAN、USB）：未接続

※2・無線 LAN：未接続

※3・節電待機時の数値は、お客様の設定により変わります。

※4・LAN 接続形態：無線親機 / HDMI 出力解像度：1080i 待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信などチューナー部が動作している場合の消費電力は増えます。

■本体

外形寸法：

幅 204 mm×高さ 43 mm×奥行き 145 mm
（突起部含まず）

幅 204 mm×高さ 44 mm×奥行き 156 mm
（突起部含む）

質量：約 0.7 kg

モニター

UN-15T8D（UN-15T8 のモニター）

UN-15CT8D（UN-15CT8 のモニター）

電源：

DC 12 V（DC IN 端子） / DC 7.28 V（充電式電池端子）

消費電力：

（付属の専用 AC アダプター使用時）

動作時（充電完了時）：約 11 W（本体 約 9.5 W）

動作時（充電中）：約 14 W（本体 約 12 W）

充電時（クイックスタート「切」）：約 9.5 W

充電時（クイックスタート「入」）：約 13.5 W

待機時（クイックスタート「切」）：約 0.12 W

待機時（クイックスタート「入」）：約 4.5 W

AC アダプター：

入力：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：40 VA

出力：DC 12 V、1.2 A

リチウムイオン充電式電池（内蔵）：

電圧：7.28 V

容量：2950 mAh（最小）

■本体

外形寸法：

幅 382 mm×高さ 253 mm×奥行き 35.7 mm^{※5}
（スタンド・突起部含まず）

幅 411 mm×高さ 267 mm×奥行き 36.7 mm
（スタンド・突起部含む／スタンドを上げた状態）

質量：約 1.4 kg

※5 最薄部 14.7 mm

UN-10T8D（UN-10T8 のモニター）

UN-10CT8D（UN-10CT8 のモニター）

電源：

DC 12 V（DC IN 端子） / DC 7.2 V（充電式電池端子）

消費電力：

（付属の専用 AC アダプター使用時）

動作時（充電完了時）：約 8 W（本体 約 7 W）

動作時（充電中）：約 11 W（本体 約 9.5 W）

充電時（クイックスタート「切」）：約 9.5 W

充電時（クイックスタート「入」）：約 13.5 W

待機時（クイックスタート「切」）：約 0.12 W

待機時（クイックスタート「入」）：約 4.5 W

AC アダプター：

入力：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：40 VA

出力：DC 12 V、1.2 A

リチウムイオン充電式電池（内蔵）：

電圧：7.2 V

容量：2500 mAh（最小）

■本体

外形寸法：

幅 254 mm×高さ 179 mm×奥行き 35.2 mm^{※6}
（スタンド・突起部含まず）

幅 283 mm×高さ 194 mm×奥行き 36.2 mm
（スタンド・突起部含む／スタンドを上げた状態）

質量：約 0.87 kg

※6 最薄部 13.4 mm

- 仕様について詳しくは、内蔵の取扱説明書（➡2）をご覧ください。

本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

～	AC（交流）
==	DC（直流）
□	クラスⅡ機器（二重絶縁構造）

?

必要とき

廃棄について

チューナー部とモニターにはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。廃棄や譲渡などでチューナー部とモニターを手放される場合は、チューナー部は「個人情報リセット」、モニターは「モニターの設定リセット」(→38)を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- チューナー部とモニターに記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- 「個人情報リセット」については、内蔵の取扱説明書(→2)をご覧ください。
- チューナー部とモニターを廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。(本製品は家電リサイクル法対象外です)
- モニターは内蔵の充電式電池を取り出して、電池のリサイクルにご協力ください。

モニターの充電式電池の取り出し方

モニターを廃棄するとき以外は絶対に分解しないでください。

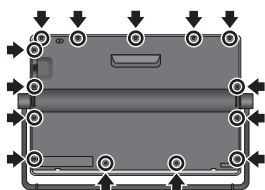
- この図は、モニターを廃棄するための説明であり、修理用の説明ではありません。分解した場合、修復は不可能です。

- 電池を使い切ってから分解してください。
- 上手に取り出せない場合、お買い上げの販売店または「修理ご相談窓口」(→裏表紙)へお問い合わせください。

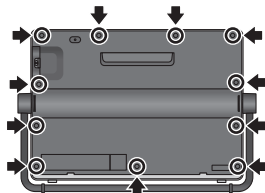
1 下記イラストの矢印箇所のねじを外す

- ねじに貼ってあるシールをはがしてください。
- 市販の精密ドライバー（＋、サイズ：No.0）で、ねじを外してください。

UN-15T8D
UN-15CT8D
(14本)

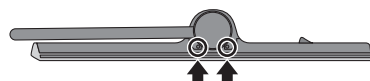


UN-10T8D
UN-10CT8D
(11本)

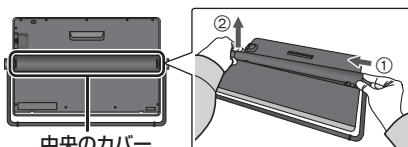


2 モニター側面(端子ふたの反対側)にあるねじを外す(2本)

- ねじに貼ってあるシールをはがしてください。



3 中央のカバーを取り外す



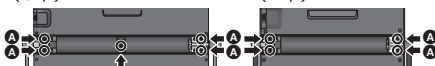
- ① 中央カバーの右側を左側に向かって押す
- ② 左側を持ち上げる

4 下記イラストの矢印箇所のねじを外す

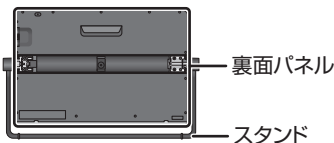
- Aのねじは、市販のドライバー（＋、サイズ：No.1）で外してください。

UN-15T8D UN-15CT8D
(5本)

UN-10T8D UN-10CT8D
(4本)



5 スタンドを取り外す



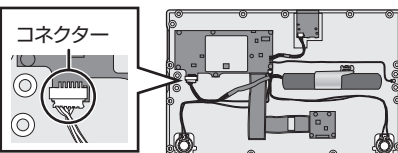
6 裏面パネルを取り外す



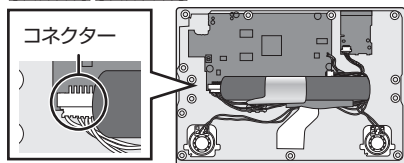
端子ふたを開け、指を掛ける部分を作ると裏面パネルを取り外しやすくなります。

7 コネクターを外す(1か所)

UN-15T8D UN-15CT8D



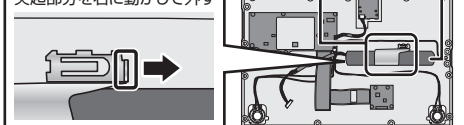
UN-10T8D UN-10CT8D



⑧ 電池カバーを外す

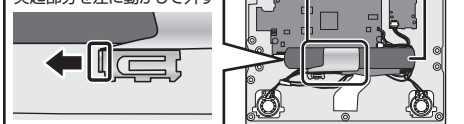
UN-15T8D UN-15CT8D

突起部分を右に動かして外す



UN-10T8D UN-10CT8D

突起部分を左に動かして外す



⑨ 充電式電池を取り出す

使用済みの充電式電池の取り扱いについて

- コネクター（端子部）をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 分解しないでください。
- 不要になった電池は、捨てないで充電式電池リサイクル協力店へご持参ください。

UN-15T8D
UN-15CT8D



Li-ion20

充電式

リチウムイオン
電池使用

UN-10T8D
UN-10CT8D



Li-ion00

充電式

リチウムイオン
電池使用

使用済み充電式電池の届け先

最寄りのリサイクル協力店へ

詳細は、一般社団法人 JBRC のホームページをご参照ください。

- ホームページ <http://www.jbrc.com>

- 著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
G ガイドは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 TiVo Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- 電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- 天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または登録商標です。
- HDAVI Control™ は商標です。
- "Wi-Fi CERTIFIED™" ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- Wi-Fi Protected Setup™ ロゴは、"Wi-Fi Alliance®" の認証マークです。
- "Wi-Fi®" は "Wi-Fi Alliance®" の登録商標です。
- "Wi-Fi Protected Setup™"、"WPA™"、"WPA2™" は "Wi-Fi Alliance®" の商標です。
- 日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイルWnnを使用しています。
"Mobile Wnn" © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかわるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておられません。
(i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
(ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpegla.com>) をご参照ください。
- チューナー部がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。

?

必要なとき

著作権など (続き)

- この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、下記をご参照ください。
 - ・チューナー部のソフトウェアについて
チューナー操作の「ホーム」をタッチし、「全機能から選ぶ」→「設定する・その他の機能」→「メール/情報・診断コード」→「メール/情報」→「ID表示」→「ソフト情報」
 - ・モニターのソフトウェアについて
モニターの「ホーム」画面を表示し、「設定」→「その他の設定」→「システム情報表示」→「ソフト情報表示」
- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、チューナー部が記憶します。万一、チューナー部の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2018年2月現在のデジタル放送規格の運用条件(著作権保護内容)に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむもののほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン/見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン/見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン/見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因したまたは関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン/見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン/見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。



VIERA Link

モニターのソフトウェアについて

本製品には、以下のソフトウェアが含まれています。

- (1) パナソニックにより、又はパナソニックのために開発されたソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)と(4)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対して、実費にて、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
<https://panasonic.net/cns/oss/>

チューナー部のソフトウェアについて

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック株式会社(パナソニック)が独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきライセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースソフトウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての黙示の保証をしないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いただいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料で入手することができます。
<https://panasonic.net/cns/oss/>

保証とアフターサービス（よくお読みください）

使いかた・お手入れ・修理などは

■ **まず、お買い上げの販売店へご相談ください。**

▼ お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名

電話 () -

お買い上げ日 年 月 日

miniB-CASカード番号


※ miniB-CAS カード番号を記入してください。
お問い合わせのときに必要な場合があります。

修理を依頼されるときは

「故障かな!?!」(→41、42) でご確認のあと、直らないときは、まず電源プラグを抜いて、お買い上げ日と下記の内容をご連絡ください。

● 製品名 HDD レコーダー付ポータブル
地上・BS・110 度 CS デジタルテレビ

● 品 番 ☐ UN-15T8
☐ UN-10T8
☐ UN-15CT8
☐ UN-10CT8

 お買い上げの品番に記入してください。

● 故障の状況 できるだけ具体的に

● 保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので、おそれ入りますが、保証書を添えてモニターとチューナー部の両方をご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

● 保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料 診断・修理・調整・点検などの費用

部品代 部品および補助材料代

出張料 技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。

● 転居や贈答品などでお困りの場合は、裏表紙の VIERA（ビエラ）ご相談窓口、修理ご相談窓口にご連絡ください。

お問い合わせのときは、診断コードをお聞きすることがあります。(→41)

事前に診断コードをお控えいただくと、お問い合わせへの迅速なご対応が可能となります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

?

必要
な
と
き

「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をお願いします

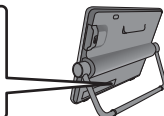
家電情報をまとめて登録管理、抽選で商品券などが当たる
詳しくはこちら <http://club.panasonic.jp/aiyo/>



- モニター背面の QR コードから登録していただくと、品番登録と製造番号を入力する必要がなく、簡単に登録いただけます

QRコード

SAMPLE



パナソニック 総合お客様サポートサイト <http://www.panasonic.com/jp/support/>



使い方・お手入れなどのご相談

VIERA (ビエラ) ご相談窓口



パナは キュウハチイチ

0120-878-981

受付時間 9:00~18:00 (年中無休)

■ 上記電話番号がご利用
いただけない場合 **06-6907-1187**

■ FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan

Tokyo (03) 3256-5444 Osaka (06) 6645-8787

Open: 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/national holidays)



修理に関するご相談

修理ご相談窓口



パナは イイヨ

0120-878-554

■ 上記電話番号がご利用
いただけない場合 **03-6633-6700**

■ FAX フリーダイヤル ☎ **0120-878-225**



便利な修理サービスサイト

<http://club.panasonic.jp/repair/>

- ・ ご使用の回線 (IP 電話やひかり電話など) によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。
- ・ 上記の URL はお使いの携帯電話等により、正しく表示されない場合があります。
- ・ 掲載サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。(パケット定額サービスに未加入の場合、高額になる可能性があります)
- ・ 宅配便による引取・配送サービスも承っております。(保証期間内は無料)

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかわるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1 ヶ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 宅外リモート接続機能
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

本機の使用上、何らかの不具合により、正常に録画・編集ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容(データ)の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。あらかじめご了承ください。

本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧、放送方式が異なりますので使用できません。

This unit can not be used in foreign country as designed for Japan only.

愛情点検 長年ご使用のHDDレコーダー付ポータブル地上・BS・110度CSデジタルテレビの点検を!



こんな症状はありませんか

- 煙が出たり、異常なおいや音がある
- 映像や音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体に変形や破損した部分がある
- その他の異常や故障がある

ご使用
中止

故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて、必ず販売店に点検をご相談ください。

パナソニック株式会社 ホームエンターテインメント事業部

〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号

© Panasonic Corporation 2018

TQBS0198

F0218QK0